

報告書

情報文化学部 情報文化学科 2年 宮野美涼

わたしは8月31日から12月26日までの約4か月間、韓国ソウルにある慶熙大学に留学してきました。韓国に留学する前は、韓国でネイティブな韓国語を勉強できるということに期待もしていましたが慣れない所で4か月もの間生活することに不安や心配もありました。しかし、実際韓国で過ごした4か月は毎日楽しく充実していました。

学校ではまずクラス分けのテストを行いました。国際情報大学の留学生は初級1からのスタートでした。3週間初級1の勉強をした後、10月から初級2の勉強をしました。また、午後1時から国際情報大学の留学生だけで歌や映画の授業やゼミナールをしました。授業を受ける前までは、韓国人の先生による全て韓国語の授業にきちんとついていけるかという心配がありましたが、先生方はとても親切で分かりやすく楽しく授業をしてくださったので毎回楽しく勉強することができました。

クラスメイトも香港やタイ、イタリアなどさまざま国籍のクラスメイトで、大学から行った友達は1人もいなかったので上手くコミュニケーションを取り3か月間過ごしていけるのか不安でしたが、みんな親切で楽しい人ばかりだったので毎日楽しく過ごすことができ、クラスメイトとは授業以外にもカラオケに行ったりご飯を食べに行ったり、いろいろなことをしました。今でもSNSなどを通して交流していて、こうして関係を続けていられることが嬉しいです。また、慶熙大学から1人トウミがついてくれて、4か月間さまざまなことを教えてくれました。わたしのトウミは日本語が上手な人だったので意思の疎通ができなかったことはほぼありませんでした。毎週1回会ってくれて、演劇を見に連れて行ってくれ、テストが近くなると韓国語を教えてくれました。普段も授業ではしないようなネイティブの韓国語の微妙なニュアンスなどわたしが気になったことは何でも聞いて、その度に悩みながらも質問に答えてくれたので感謝しています。

また、国際情報大学から一緒に行った友達とも、誰かが誕生日の時はケーキやチキンでお祝いし、困ったことがあれば助け合って4か月過ごしてきました。隣の部屋とはほぼ毎日一緒にご飯を食べて夜まで話したりするなど更に仲良くなれました。

韓国に留学して韓国語はもちろん、得たものがたくさんある有意義な4か月を過ごすことができました。最初の不安は本当に必要なくらい毎日が新鮮であつという間の4か月でした。この留学で感じたことや得たものを無駄にしないように過ごしていきたいと思えます。